



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経理財務部長 渡部 一夫
(電話番号 092-288-8470)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年11月12日付で公表しました2022年3月期の通期連結業績予想（以下、「前回発表予想」といいます。）について下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,400	百万円 2,100	百万円 2,000	百万円 1,200	円 銭 69.62
今回修正予想（B）	12,700	1,900	1,850	2,100	121.84
増減額（B－A）	△700	△200	△150	900	
増減率（％）	△5.2	△9.5	△7.5	75.0	
（参考）前期実績 （2021年3期）	11,046	893	891	546	31.45

修正の理由

2021年12月10日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社は、連結子会社である株式会社ジェネティックラボの全株式をEurofins group傘下のEurofins Clinical Testing Japan Holding 株式会社に譲渡する旨の株式譲渡契約を締結し、2022年1月1日付で同社株式を譲渡いたしました。このため、第4四半期から株式会社ジェネティックラボは連結の範囲から除外されることとなり、第4四半期の連結決算において約1,450百万円の関係会社株式売却益を特別利益として計上する見込みであります。

また、本日の「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しましたとおり、2022年3月期第3四半期連結累計期間において、のれんの減損損失169百万円及び投資有価証券評価損130百万円を特別損失として計上いたしました。

上記要因を踏まえ通期業績予想を見直した結果、売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前回発表予想を大幅に上回る見通しとなりました。

以上